

【北海道地区】

(1)実施日	平成 26 年 6 月 28 日(土)
(2)実施場所	ウトナイ湖（北海道苫小牧市）
(3)参加者	29 名
(4)協力	(公財)日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリ
(5)活動内容	<p>オリエンテーション・作業説明の後、 オオアワダチソウ抜き取り（6, 129本）。ウトナイ湖周辺の野外ガイド。</p> 
	<p>〔オオアワダチソウの特徴〕北米原産の多年草で明治時代以降に移入されたものが北日本に多く分布している。根茎から周囲の植物を弱らせる物質を出す他、1年間で高さ 2.5m という生長力の速さで、在来植物を圧倒して大群落を作る。</p>
(6)スケジュール	<p>08:30 札幌駅北口から貸し切りバスで出発 10:00～10:20 オリエンテーション ・オオアワダチソウの性質と分布状況の推移 ・ウトナイ湖での駆除活動 10:20～11:10 オオアワダチソウ駆除活動 11:10～11:50 野外ガイド ・ウトナイ湖畔林の植生や野の花、キツネ生息について ・ウトナイ湖の成り立ちや野鳥の渡りなどについて 13:00～14:30 しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚にて昼食 16:00 札幌駅北口到着後に解散</p>
(7)参加者の感想	<p>①作業内容、作業時間、場所とも無理がなく、駆除活動ができた。 ②駆除活動の成果を目の前で確認できる事はやったという実感がわく。(オオアワダチソウを山積みして記念写真) ③最初は抜き取りのコツがわからず手間取ったが、楽しかった。 ④今年は案内役の野外レンジャーが、2名付いて良かった。 ⑤年齢、男女、会社の隔たりなく交流する場となり良かった。 (オオアワダチソウの生命力、繁殖力は強いため継続しないと駆除活動は意味がないとのこと。)</p>
(8)その他情報	ウトナイ湖を含む周辺の湿地 510ha が国内 4 番目となるラムサール条約登録湿地に認定されている。